



かえでゆうびん 6月号

2020年 6月1日

社会福祉法人 清松学園

幼保連携認定こども園

かえで保育園 園長 引地美津代

長い長い期間ご協力いただきありがとうございました。まだご協力いただくご家庭もありますが、もう少しで皆さんを迎え入れられることになりそうです。

「緊急事態宣言」という今までにない宣言に今後どうしていくのかパニック状態になりました。毎日当たり前のように過ごしていたことが当たり前でなくなり、その中でどのようにしてお子様の安全、保護者の安心・職員の健康管理を守るか・・・

今までにない厳しい対応で、お仕事に支障のでたご家庭もあったかと思えます。

ただ、その中でこんなに長い期間保護者の方とお子様と一緒に過ごすことができる時間を持てたことで、親子関係にまた変化ができたのではと思う場面もありました。

たとえ外に出かけられなくても、私たちがどんなに頑張ってお世話する保育園生活より保護者の方と一緒に過ごせるお家での時間は、お子様にとっては嬉しく安心できる時間となったことと思えます。

幼児になると「お友だちと会いたい。」「保育園に行きたい」と思ってくれたお子様もいてくださったようですが、大人にとって心労の続いたこの期間は、お子様にとっては愛情+になった期間だと思えます。

それとは逆に受け入れる子どもの少ない保育園では、園庭の玩具も室内絵本もあまり移動することもなく職員は毎日消毒に明け暮れ、職員同士の会話もいつの日か衛生管理のことばかり・・・

そんな中、折り紙・ぬりえから始まり、ビデオレターを皆で撮影したり、歌を歌ったりすることで先生本来の明るい表情が戻ってきました。各ご家庭にとにかく早く届けたいという気持ちで職員が一丸となって作業ができ、2日ほどで各家庭にお送りすることができました。

その後、思いもよらなかった保護者の方々の暖かいお便りや子どもたちの絵やお手紙に励まされ、心折れることなく職員皆でこれから先を考えることができました。

中には卒園のご父兄からも温かいメッセージも頂き保護者と職員の関係を超えた「共育て」の思いが深まりました。ありがとうございました。

今後、保育が始まったら4月からの2か月をどのように埋めていくか、また子ども同士が過ごす生活に距離を保つことは極めて難しいのが現実です。ですがこれからの新しい生活スタイルは消えることなく子どもたちが「生活の仕方」を習得していけるようにすすめ、「自分の命を守ること」の衛生管理・人との距離・食べること・などを保育計画の中に盛り込んで保育・教育をしていきます。

これからしばらく変わることお知らせます。

1) 保育時間によって受け入れる場所が変わります。保護者の入館はできません

7:00~8:00 9:30~15:45 18:00~ 玄関門
8:00~9:30 15:45~18:00 園庭側の門

2) **健康調査表は個人で記入して持参下さい。**記入のない場合、保育は受けられません

3) 平熱の高い場合以外（ヒヤリング必要）37.5℃以上は保育できません

4) 保育中の発熱の場合、様子を見ず、連絡させていただきます。速やかにお迎えください。また、緊急連絡の①でかからない場合は～4の番号（職場）にも連絡します。

5) しばらく、**薬持参の登園は受けません。**体調管理してください

6) 行事の進め方（決まり次第、速やかにお知らせします）

できるだけ経験できるよう戸外でできるものは少人数で参加できるよう計画します。

・7月4日 同園お泊り会・・・同園会として時間を決めて行う予定です

・7月からのプール遊び・・・プールは使用しません。水遊び・泥んこ遊び等で楽しみます。

・今後の状況を見ながら検討する保護者参加の行事・・・運動発表会・成長発表会・保育参加

今後感染症の状況がどの方向に進んでいくか見通しが立ちません。行政の指示を仰ぎながら進めていきますが、基本はお子さまの体験がなくなるよう工夫し、園生活を進めていきます。

その内容はできるだけ詳しくお伝えしていきますが、保護者の方々のご協力を必要とします。

これから起こるであろう今まで経験したことのない出来事に屈することなく大切なお子様の成長していくこの時期にたくさんの我慢でなく、**たくさんの経験・体験**ができるようしっかり支えていきたいと思えます。

にこにこメッセージ

体を動かすと汗ばむ季節となりました。2 か月も園に全員の子どもたちが揃うことのない日々が続きました。その中で私たちができることは何か、子どもだけでなく保護者の皆様とも気持ちの上でつながることは何かと考えました。その中からかえで保育園のオリジナルのDVDが2枚できました。1枚目のDVDをご覧いただいた保護者の方に「理事長先生・園長先生 藤森先生」の姿がなかったとお手紙を頂きました。うれし・はずかしながら2枚目に登場させて頂きました。それぞれ撮影するときには失敗もあったりと、苦戦したりもしましたが、職員一人ひとりが楽しんでいる姿そのもののDVDです。いつか「NG集」をみなさんと鑑賞できる日が早く来て欲しいと願うばかりです。たくさんのお手紙やご感想を頂きありがとうございます。私たちのにとって何よりの励みになりました。

保育環境の中では今後は長期間になるであろう「3密」を避けるための工夫をしていかねばなりません。「密になるから、これはできない」ではなく、「こうすればできる」と考え保育を進めていきます。こんなときだからこそ、子どもたちがより考え、試行錯誤できる環境を共に作り、久しぶりに皆がそろい笑顔いっぱいの6月になるよう職員とともに保育を工夫し考えていきます。

主幹教諭 藤森 寿美

日々先のことに追われる大人の社会に反して、子どもたちの世界は変わらずたのしいことで溢れています。事務所には毎日かわいいお客さんが尋ねに来てくれるのですが、視線を感じ振り向くと網戸越しにじっと見つめてくれるふたばさん、「むしめがねかしてください〜」と毎日やってくるつぼみさん、幼児さんは何度も何度も諦めずに竹馬に挑戦していたり、「ねえちょっときて」と誘いかけ園庭での発見や喜びを教えてください。

カタバミのぷちぷちの種を見つけたこと、ビワの種をないしょで植えたこと、てんとう虫の背中には色んな模様があること、アリの家族が隠れている場所…子どもたちの目を通して見た世界はこんなにも面白いことで溢れているのだと教えてくれる姿に、私自身気付けば頬が緩んでいます。そして、めばえ組の窓からもみんなの様子がよく見えます。

お兄さんお姉さんが試したり、挑戦したり、発見している姿をじっと見つめ、きっと沢山の刺激を受け大きくなっていくのですね。

ふわりと心を軽く、明るくしてくれる子どもの世界って本当にすごい！と感心しつつ、新しい世界を見せてくれる子どもたちに毎日ありがとうございますの気持ちでいっぱいです。

副主幹教諭 河本 彩奈

～めばえぐみ～

ねらい：「保育園に慣れる。興味のあるものを触ってみる」

うた：「ももやももや・ジージーバー」

6月からようやく慣らし保育を再開出来ることになりました。4月に会ってから時間がたち、どのお子様も成長が見られ、出来ることも増えているんだろうな、とドキドキワクワクしながらお待ちしています。慣らし保育では、保護者の方と子どもたちが1度に集まることのないように、6月前半は週2、3回、後半は週4回と日を分けて進め2か月を取り戻そうと考えています。日が空いてしましますが、1対1での子どもたちとの関係作りはもちろん、保護者のかたとも園や家庭の様子をたくさんお話していきたいと思います。生活の仕方、成長の内容、素敵なエピソードも是非教えてください。

園庭には日陰ができるテントも準備しました。近くにはプランターの花や野菜がグングン成長中です。子どもたちと園庭に出た際には、紫外線対策をし、心地の良い風、ひんやりとした水や泡、きれいな花や若葉など沢山の自然に触れていきたいと思います。また、保育室では、捕まり立ちやハイハイが出来る様に壁面の玩具や、マットを用意しています。子どもたちが楽しく過ごせるよう、一人ひとりの興味のある遊びを一緒に探して行きます。

感染予防の対策では、玩具のこまめな消毒、間隔をあけた状態での睡眠等を新しく取り入れていきます。玩具や環境だけでなく、子どもたちとの距離が近くなる分、保育者も衛生面に気をつけながら過ごしていきます。みんなに会える日を楽しみにしていますね。

立田 瑛玲奈・柴原ちはる・宝田 聖美

～ふたばぐみ～

ねらい：「感触遊びを楽しもう！」

うた：「かたつむり、てるてるぼうず、メンメンタマグラ」

6月になり梅雨入りの時期となりました。

ふたば組のお部屋の中の遊びでも手洗いが楽しくできればいいなと思い、手洗いコーナーを作りました。また家の洗面所をイメージして手作りの洗濯機も置き、洗濯遊びから泡遊び、しゃぼん玉遊びなどにつなげていきたいと思っています。部屋の中央には棚を配置して空間分けをしました。それぞれのコーナーに子ども達の好きな積み木やパズル、ポットン落としなどを配置しています。また、手作りおもちゃは手先を使うようなファスナーのついた豆や、マジックテープを使い繫げられるおもちゃを作りお部屋に置いています。

また雨の日が多くなり園庭で遊べないときはランチルームを使ったり、体操やトンネルなどを使ったりをして雨でも楽しく身体を動かせる遊びを楽しんでいきたいと考えています。

生活面では一人一人の距離が近くならないように座るところには印を貼っています。着替えの時にはその印に座るように声をかけています。排泄では時間差で排泄を促し、食事では友だちと触れることがないよう間をあけて座っています。友だちとの間隔を配慮しながら進めていきます。

子ども達も自分でできることがどんどん増えてきてできるだけ「自分で」という思いがたくさん出てきました。その気持ちを大事にしながら一つひとつ丁寧に進めていきます。

今までの保育園での生活と同様に、子どもたちが安心して楽しく生活ができるよう今までの遊びと共に、今だからできる遊びを考えていきます。手洗いコーナーが増え積極的に手を洗う姿が増えました。手洗いが上手にできる子どもが増え、保育者と一緒に手洗いの歌を歌いながら衛生面に気を付け、過ごしていきたいと思っています。そして何より15人全員で遊べる日を楽しみに保育園で待っています。

星加 由美子・植木 雅・松岡 桃花

～つぼみぐみ～

ねらい：「友だちと一緒に遊ぶことを喜ぶ」

うた：「あめ・たなばた」

みんなと会えない日が長く続きとても寂しかったですが、保育園ではみんなが楽しく園生活を再開できるよう、準備をしてきました。園庭にはトマトの苗、部屋の前には朝顔の種を撒きました。5月に入ると少しずつ大きくなって、朝顔も可愛いふたばを覗かせています。今後は子ども達と一緒に水やりをしたり、日々の成長を観察したりする中で植物への興味をもってくれたらと思っています。夏にはできたトマトをみんなで食べる経験、また朝顔を使って色水遊びなど、遊びの発展にも期待しています。



そして4月にみんなで捕まえたおたまじゃくしは今、カエルに成長中！小さな体でジャンプしたり一生懸命に泳いだりする姿はとっても可愛らしいですよ。子ども達にも早く見てほしいという気持ちで待っています。これからまだまだ大きくなるのかな？何色になるのかな？一緒に観察しながらお世話をしていきたいと思っています。

室内ではゆったりと過ごすことを大切に、子ども達の好きなままごと、パズル、粘土などを衛生面にも気を付けていながら楽しんでいきます。保育者も手作り玩具を作りながら、子ども達が楽しんでくれるな？とワクワクしています。子ども達の「密」を出来る限り避けていくこと、消毒を徹底するなど気を付けていながらも子ども達が遊び込める時間を大切にしていきたいと思っています。遊ぶ中で考える力、手先を使う経験など子ども達の発達を促していけるよう今後も環境を整えていきます。

生活の中でも出来ることが増えてきましたね。子ども達の「自分でやりたい」の気持ちを大切にしながら援助していきたいと思います。しばらくは食事や排泄など少人数ずつ行い子どもたち同士の距離や手洗いなど保育者が注意しながら見守っていきます。子ども達が不安になる事がないよう、衛生面に気を付けていく中で子ども達が安心して保育生活を送れたらと思います。

1日でも早くつぼみ部屋にみんなの元気な笑い声が帰ってくるのを楽しみに待っています！！

今井 奈沙・小板橋 円香・尾崎 美緒

～いぶき・ひかり～

ねらい：「自分のやってみたいことを見つける」「土や水などの感触を楽しむ」

うた：「にじ」「あめふりくまのこ」

園庭ではダンゴ虫やてんとう虫、ヤモリなど、様々な生き物たちが顔を出すようになり、色水遊びや泥団子づくりを楽しめる季節になってきました。

みんなと会えない日が続き、寂しさを感じていましたが、楽しく園生活を再開出来るよう

“今できること”を職員間で話し合い、まずは一人ひとりの大切な命を守ることを1番に考え子どもたちが出来る限り今までと同じように安心した環境のなかで過ごすことができることを意識して生活の流れを組み立てています。

季節に合わせて遊びを提案したり、室内では環境を変えて、ひとりひとりがじっくりと遊び込めるスペースを確保しています。子どもたちの興味に合わせて、その都度コーナーを設定したりみんなが保育園に来ることをわくわくするような工夫をし、準備をしています。

生活の中でも、衛生管理を考え、進めて行く中で大人が声を掛けすぎずに過ごす事ができるよう“あおくん、きいろちゃんシール”をつくりました。自分が活動する場所が自然とわかるように、スペースを空けて階段や手洗い場など様々な場所に貼りつけています。

食事では向い合せに座ることを止めて、間仕切りを設置しました。



ただ食事を進めるのではなく、窓から自然物が見えるように机を配置したり、間仕切りに景色の写真を飾ることでほっこりしたり、ゆったりとした気持ちで食事が楽しめるようにしています。午睡時はフリールームと幼児部屋で分け、子ども同士の間隔と顔が向き合わないようになっています。

また手洗いを丁寧に楽しく行えるよう、かえでオリジナルの「手洗いのうた」をうたいながら子どもたちと一緒に手洗いを行っています。子どもたちに伝えていくので、ぜひご家庭でもやってみてくださいね。



～園庭の様子～

園庭に咲いている様々な草花から「これはももジュース！」など色の変化や違いを楽しみながら色水作りに夢中です。きゅうりやオクラの苗も植え、すくすく育っています。水やりや観察、収穫などこれからみんなで共有していきたいと思います。



～お部屋の様子～

アートコーナーでは、みんながわくわくするような材料や素材を増やし新しくアトリエを作りました。ブランコなどの遊具を作り、ラキューで作上げた物も飾ったりと公園作りも楽しんでいます。

密を防ぎ点在して遊べる環境を整えながら、みんながわくわくするようなことを取り入れ、遊び込める環境を心掛けています。

6月では子どもたちの興味に合わせて行き先を考え、少人数に分かれて異年齢で散歩に出掛ける計画も立てています。子どもたちの発見から遊びが広がる関わりを大切にしていきます。

1日でも早くみんなと笑顔で楽しく過ごせる日々が訪れることを楽しみにしています！

林 奈津美・山本 あかね



～だいちぐみ～

ねらい：『保育者に見守られながら考え、自分でやってみようとする』『命について考える』

うた：『かぜはともだち』『まあいいのち』

毎日聞いていた「おはよう」の挨拶、笑顔や笑い声が響く保育園を思い出しながらみんなに会えることを心待ちにしながら過ごしています。私自身が子ども達と一緒に楽しんだり、不思議を見つけたり、様々なことを感じさせてもらっていたのだと気づかせてもらいました。

子ども達の大切な命を守ることに、安心して過ごす為にできることを職員で話し合いながら環境を整えています。

食後のランチルームの机や床拭き、絵本の部屋の片づけ等、みんなで使った場所を分散しながら綺麗に片づけています。園庭で過ごすことが増え、めだかやもりぴーいっちゃんのお家を掃除しながら観察する日々が続いています。色水遊びで使った道具をスポンジで洗ったり、片づける場所を教えてあげる姿も見られます。

栽培しているきゅうり・オクラ、ジャガイモについて調べたり短縄の連続跳びや竹馬に乗れるように何度も挑戦したりそれぞれに興味があることや自分自身と向き合う時間になりつつあります。

1つずつ向き合ってみると私自身も考えつかない発想や不思議もありなんでだろう…と一緒に考える機会にもなっています。今は、直接保護者の方と話す時間を設けることが難しくなっています。

個別ノートを活用して園での様子を共有していきたいと思います。

～自分で考える～

子どもから「コロナ」の言葉を聞くと、子ども達の中で身近に感じてしまう程広がっている現実改めて恐ろしさを感じてしまいます。間隔を空けて座りながら「離れてるけど、笑ってる顔が見れるから嬉しい」「みんなに会ってないね…」という声も聞こえてきます。今まで保育園で一緒に過ごしてきた仲間、子どもながら何か感じ取らずにはいられない様々な思いが積み重なっているのだと改めて考えさせられました。

これから自分で考えることが今まで以上に増えてくることとなります。自分で考えるきっかけになればと、まずは今までは保護者の方に見てもらっていたロッカーの整理を自分で確認する時間を設けることを始めました。「どのくらい持ってきたらいいかな？」と尋ねたり、忘れないように絵で書いてみたりと自分なりに工夫する姿も見られます。困ったときにはともだちに尋ねてみることで、自分が知らない新しい発見から友達との関わりが広がっていくことにも繋がります。

みんなで集まることは密になるからできない…ではなく、自分で考えたり発見したりこんな時だからこそじっくり向き合い前向きに捉えることができる工夫をしていきます。ひとりひとりの個性がより輝くことができるよう共に過ごしていきたいと思います。

6月は個々の発見に繋がるよう園外に出かける機会も子ども達と計画しながら進めていきます。

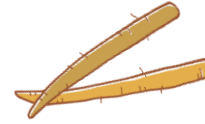
だいち組 15人揃って、みんなの笑い声が聞こえる日を楽しみに…保育園で待っています！

日笠 加菜

～お台所より～

初夏を迎え、街路樹の緑もますます青々とした季節になりましたね。
長かった緊急事態宣言もようやく解除となりましたが、まだまだ油断はできない日々です。
又、これからだんだんと蒸し暑くなり、身体も疲れやすくなってきますが子どもたちの食欲が落ちてしまわないよう衛生管理に気を付け、美味しい食事を作っていきます。
引き続き今月も感染予防の為、幼児はおかずをお弁当箱に入れて提供します。

今月のおすすめ食材 新ごぼう



今月はこの時期が旬の「新ごぼう」についてご紹介します。

ごぼうは通常、秋から冬にかけて収穫されますが、「新ごぼう」は初夏頃に収穫される成長途中のものであり、白色で細くやからかいところが特徴です。そのためアクも少なく、火を通す時間も短くて済み、下処理や調理がしやすいのも良いところですが、傷みやすいので、すぐに使い切るか、水気をふき取ってささがきや千切りにしてフリーザーパックに入れて冷凍保存するのもおすすめです。

(約1ヶ月ほどは保存できます)

食物繊維が豊富なごぼうですが、「新ごぼう」にはアミノ酸の一種である「アルギニン」という成分が多く含まれており、特に肉や魚などの良質なたんぱく質と一緒に摂取することで疲労回復や免疫力アップなどの効果があるそうです。

～おすすめ食材を使ったレシピ

さっぱり新ごぼうのサラダ～

〈 材料 2人分 〉

〈 作り方 〉

新ごぼう 1本
ささみ 1本
豆苗 1/4パック
[ドレッシング]
酢 大さじ1.5
醤油 小さじ1
砂糖 小さじ1
ごま油 小さじ1

1. ドレッシングの材料を全てよく混ぜ合わせる。
2. 新ごぼうは洗って皮を剥きささがきにして熱湯で2分程茹でて水気をきる。
3. ささみも熱湯で3分程茹でて水気をきり、裂いておく。豆苗は1/3の長さ気って熱湯でさっと茹でて水気を切っておく。
4. ボールに2. 3. の材料を入れ、1. のドレッシングを加えて混ぜ合わせれば出来上がり。

※ささみ以外にも豚肉やツナでも美味しいですよ。

大人は輪切りの赤唐辛子を加えるとおつまみにもぴったりです。

栄養士 河田 泰隆
廣田 恵



- しばらくの間、園内の保護者の入室はご遠慮いただきます。ご理解ください
- 登園の際にはソーシャルディスタンスを保つために順番に受け入れを行います。間隔をあけてお待ちください
- 事前にお渡しした健康調査票の用紙を必ずご用意してお待ちください記入のない場合はお子様は預かれません。
また、朝の 8 時～、夕方は 15 時 45 分～は園庭側通用口よりお子様の送迎を行います。
お待たせすることもありますがお了承下さい。
- 6 月も登園自粛期間になりますので、仕事がお休みの方や家庭保育が可能な方はご協力をお願いします。
- 今後の行事は内容・人数等を考え進めていきます。

せんせいからのおはなし♪

自粛期間が明けてから、子どもたちと何をして楽しもうか、どんなことがワクワクするのか職員と話し合ったり、考える時間が多くありました。

そのなかでも自分自身が何か新しいことに挑戦して、子どもたちと一緒に楽しみたい！という気持ちからウクレレを購入しました。

今は子どもたちが歌っている「にじ」や「かぜはともだち」など、みんなと一緒に歌えると素敵だな、と思う

歌を練習中です。弦楽器は経験がなかったのですが、音を鳴らしてみると、とても心地いい音がします。きれいな音を聞いて心が落ち着いたり、誰かと音を合わせることで楽しい気分になったりと、音楽って素敵だな、と改めて感じました。みんなと音楽を楽しむことができる日を心待ちにして、練習頑張ります！

林 奈津美

★お願い★

- 毎日体拭きタオルを持ってきてください
よいこネットでお知らせしましたように清潔を保つために手足・顔を洗ったり暑い日はシャワーを開始していきます。袋・タオルに名前を書いてください
- これからは雨の日が多くなります。
駐車場ご利用の方は、短時間の利用にご協力下さい。
- 衛生管理上レインコート・傘ご使用の方は、お持ち帰り下さい。
- 着替え等は持ち帰った分を翌日持ってきていただくようご準備ください

★特別保育期間中の保育料・給食費等について

- 3号の方・保育料は日割りで計算し返金
- 2号の方・給食費のみ日割りで返金
- 1号の方・国の基準では返金できませんが園から給食費の返金処理を行います。

*銀行の登録上、一旦は決まった日に保育・給食費等は引き落とされますが後日返金致しますので口座への入金をお願いします。

引き落とし・返金時の明細は後日 3 月～まとめて個別にお渡しします。

ご不明な点があれば問い合わせください。

≪ 6 月の予定 ≫

- *体操・・・第 4 週目から再開する予定です
- *絵画・・・6 月は週 1 で行います
3日(水) 9日(火)
17日(水) 23日(火)

- *誕生会
18日(木) 4月生まれ
24日(水) 5月生まれ
30日(火) 6月生まれ

4月から行うことのできなかった誕生会を今までとは違った形でお祝いします。お楽しみに♪この日に参加できない場合は別日にお祝いします。

*各健診
コロナウイルス感染拡大防止のため西宮市より健診の自粛が引き続きしています。指示があり次第計画します。